

第 121 回 番組審議会議事録

- 1 開催年月日 令和 2 年 10 月 27 日 (火) 18 時 30 分
- 2 開催場所 久留米市中央町 35-20
ドリームスエフエム放送(株) 本社
- 3 委員出席 委員総数 5 名
出席委員数 5 名
出席委員氏名 田中 優子・石井 秀夫・酒井 香・濱田 耕治
(レポート) 江川 拓也
放送事業者側出席者 秋穂 真由美 内藤 圭祐
- 4 議題 「知るっば久留米」
- 5 議事の概要 放送事業者が資料とともに 事前に CD に収録した番組を各委員に視
聴頂き、感想、意見を述べて頂いた。
- 6 審議内容 ① 番組名：「知るっば久留米」
② 放送時間：令和 2 年 7 月 2 日(木)～7 月 30 日(木) 計 5 回
③ 放送形式：録音番組
④ 審議の対象：同上
⑤ パーソナリティ：坂本 豊文
⑥ ディレクター：内藤 圭祐

【番組コンセプト】

「久留米の魅力を知る」をコンセプトにした久留米市のプロモーション番組。月ごとにテーマを設け、その分野の専門家をゲストに迎えて「行政番組らしくない」ようなトーク展開で地元久留米の知られざる魅力をお届けしていきます。今回は「筑後川の生き物」をテーマに、筑後川防災施設くるめウスを運営する NPO 法人筑後川流域連携倶楽部くるめウスの事業部長の川嶋睦己さんをゲストに迎え、筑後川に生息している身近な生き物から聞きなれない生き物の生態や名前の由来の解説、在来種・外来種と筑後川の環境が人間の生活にも密接に関係していることなどをお話いただきました。
※その他「道の駅くるめ」、「久留米市の救急救命」、「城島瓦」をテーマに放送しています。

委員のご意見

「知るっば久留米」

- ① くるめウスの川島さんの話が落語の話し方でとても面白くて聞きやすかった。喋りの中から久留米にちなんだ生き物やくるめうすの名前の由来などとても親しみを持って聞くことが出来た。ラジオなのに風景とか魚の雰囲気がまぶたに浮かぶような語り口でとてもよかった。魚も興味深く、後で調べてみようと思うくらい聞き入る話だった。久留米をより好きになるような内容だったと思う。掛け合いのトーク形式というものも聞きやすかったし、プロらしくないところが魅力的だった。
- ② 男女平等推進の立場から言えば、一般的に使われがちな「奥さん」という表現があったが「妻」という表現を使ってもらうとよりよかった。
- ③ 聞いた後に改めてくるめウスに行ってみた。行政番組らしくないトークでということ番組の取り組み自体は面白い。今後の道の駅くるめや救命救急など久留米を色んな切り口で紹介するのはいいと思う。できれば久留米のプロモーションとして進めていくのであればもう少し方言を入れるなど、久留米らしさを少し出してもらいたい。
- ④ 行政らしくなくといえば、場所を紹介するときに住所ではなくてあえて近くの商業施設(ショッピングセンター等)でしたほうがよかったのでは。今後みなさんに伝わりやすい仕組みがあるといいと思う。
- ⑤ 行政番組らしくないという目的はすごく達成できているのでは。パーソナリティとゲストの話しが上手で聴きやすかった。内容も知らない魚を取り扱っていたが、新しい要素をやわらかく伝えるというのはよかった。
- ⑥ 今回なぜ「魚」をテーマに選んだのか。折角くるめウスであれば防災をテーマにしてもよかったのでは。筑後川では近年連続で水害が起きているし、梅雨時であれば筑後川にまつわる防災の話、久留米市がどういう対応をしているのかなど、この2人であればやわらかく伝えることが出来て話題になったのでは。今後、硬派な話題にも取り組んでほしい。
- ⑦ 声のはきはきして聴きやすく、2人の掛け合いも面白かった。魚のエピソードも興味深かった。特にエツ漁開きのときに弘法大師とエツにまつわるエピソードを再現されているという話は地元にはゆかりのある伝承が語り継がれているということがわかってほほえましかった。
- ⑧ くるめウスという施設自体の説明があるとよかった。防災施設と紹介されているものの、話のメインは生き物の説明だったので、防災施設なのか水族館なのか、初めて聞く人は思うのではないだろうか。ゲストの仕事内容の紹介も個人なのか施設なのか聞いただけではよくわからなかった。ホームページを見ると施設について詳細が書かれてあったので番組でもきちんと説明してもらえるとよかった。

- ⑨ 今回は筑後川について知ろうということで筑後川防災施設くるめウスの方が筑後川の生き物について話すという内容でした。くるめウスという名前の由来から始まり、数種類の魚について興味深いエピソードを交えとても聞きやすい内容でした。個人的には筑後川で天然のウナギが生息しているという情報には驚かされました。また、今回のテーマとは違いますが、落語を交えながらわかりやすく防災について講演もされているということなので、毎年台風や大雨で被害の出ている久留米市に対して情報を発信する回を改めて設ける必要性を感じました。

7 審議機関の答申又は意見の概要の公表

公表の方法 自社ホームページへ掲載

8 次回の審議委員会は、令和3年2月下旬に行う予定